

平成 30 (2018) 年度第 4 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会
議事概要

日時：平成 30 (2018) 年 11 月 16 日 (金) 14:00~17:00

場所：同志社大学今出川図書館 特別閲覧室

出席者 (敬称略、順不同)：

大阪大学附属図書館	井上敏宏	
京都大学附属図書館	小松原記子	
神戸大学附属図書館	山崎真知子	
福知山公立大学総務企画・財務グループ	足立斉	
京都市立芸術大学連携推進課	角田敏昭	
同志社大学図書館	山口伊都代	
京都文教大学図書館	大浦伸子	
阪南大学研究部図書館	堤俊哉	
大阪体育大学図書館	那須浩子	以上 9 名

欠席者：

関西学院大学図書館運営課	服部耕一郎
--------------	-------

配付資料：

- | | |
|--------------------------------|---------|
| 1 開催通知 | 資料 1 |
| 2 平成 30 年度第 3 回能力開発専門委員会議事概要 | 資料 2 |
| 3 平成 31 年度「中級研修」について | |
| ① 研修企画案公募要項 | 資料 3-1 |
| ② 審査基準及び審査方法等 | 資料 3-2 |
| ③ 提案書 | 資料 3-3 |
| ④ 審査結果 | 資料 3-4 |
| ⑤ 研修会場等について | 資料 3-5 |
| ⑥ 研修関連スケジュール | 資料 3-6 |
| ⑦ 役割分担表 | 資料 3-7 |
| ⑧ 企画案 | 資料 3-8 |
| ⑨ ToDo リスト | 資料 3-9 |
| ⑩ 当日まで準備するもの | 資料 3-10 |
| 4 平成 30 年度能力開発専門委員会開催検討資料 | |
| ① 開催日程検討資料 | 資料 4-1 |
| ② 開催会場検討資料 | 資料 4-2 |
| 5 参考資料 (平成 30 年度基礎研修「初任者研修」関連) | |

① 企画案	資料 5-1
② 開催について (通知)	資料 5-2
③ 募集要項	資料 5-3
④ 受講申込書	資料 5-4
⑤ 機関別推薦書	資料 5-5
⑥ 選考決定	資料 5-6
⑦ 受講者の皆様へ	資料 5-7
⑧ 収支リスト	資料 5-8
⑨ 日程表 (平成 29 年度中級研修、平成 30 年度初任者研修)	資料 5-9
⑩ 講師, 主催者一覧	資料 5-10
⑪ 講師, 委員行動一覧	資料 5-11
⑫ 司会原稿	資料 5-12
⑬ 情報交換会司会原稿	資料 5-13
⑭ アンケート	資料 5-14
⑮ 講師と事前打合せ	資料 5-15

・ 議事に先立ち以下を確認した。

- 1) 配付資料の確認
- 2) 資料 2 に基づき、前回の議事を確認した。

議題

1. 平成 31 (2019) 年度「中級研修」について

1) 研修企画の公募について

角田主査から資料 3-1 から資料 3-4 に基づき、次年度中級研修にかかる公募、提案及び審査について、これまでの経緯等の説明があり、内容を確認した。

なお企画案は、能力開発専門委員会 (以下「本委員会」と言う。) でのメール審議の結果を踏まえ、賛助会員のプロクエスト日本支社様からの提案を採用することを確認した。

2) 会場および日程表

角田主査から資料 3-5 に基づき、これまでの研修会場検討にかかる経緯等の説明があり、今回の会場候補について検討した。

協議の結果、特に会場を提供できる機関がなかったため、会場に適する条件が整い、使用料が不要で、比較的早期に予約が可能な大阪大学附属図書館総合図書館を候補とすることとした。今後、開催日を決定し、井上委員が会場の予約状況を確認することとなった。

3) 研修関連スケジュール

角田主査から資料 3-6 に基づき、次年度に入ってから研修関連スケジュールについて提案があり、協議の結果、以下のとおり候補日を決定した。今後、講師との打合せ等を通じて、確定していく予定とした。

- ・ 4月2日(火) : 運営委員会事務局からの開催通知
- ・ 4月22日(月) : 受講の募集締切
- ・ 4月25日(木) : 第1回能力開発専門委員会
- ・ 5月8日(水) : 受講者決定通知の送付
- ・ 5月28日(火) : 第2回能力開発専門委員会
- ・ 5月30日(木) : 中級研修

4) 役割分担

角田主査から資料 3-7 に基づき、次年度研修における役割分担について説明があり、各担当について検討した。協議の結果、以下のとおり役割を決定した。なお研修者担当は、近々実施を予定している講師打合せの結果を踏まえ、受講申込ウェブフォームの準備を進め、1月頃に開催予定の第5回本委員会にて内容を確認することとした。

- ・ 運営委員会連絡担当 : 角田
- ・ 会計担当 : 小松原・井上
- ・ 講師担当 : 足立、堤
- ・ 研修者担当 : 山口、服部
- ・ 会場担当 : 井上
- ・ 配布資料担当 : 井上
- ・ 情報交換会担当(当日) : 大浦
- ・ 受付担当(当日) : 小松原・大浦・山崎
- ・ 司会担当(当日) : 那須
- ・ 記録担当(当日) / 写真映像 : 足立 / マイクランナー : 山口・服部 / タイムキーパー : 堤
- ・ アンケート担当(当日) : 山崎

2. その他

1) 研修内容について

採用が決定した企画案について、各委員が持ち寄った資料に基づき、意見交換を行った。講義やワークショップに関する内容は、講師打合せの機会を用いてさらに検討することとし、それ以外の検討事項について以下を確認した。

(1) 今後検討する事項

- ・ 研修会場の見学については、今後検討する。
- ・ 謝金及び交通費の支払いについて、講師担当のプロクエスト日本支社様より、既に辞退の申し出があったことは、大学図書館近畿イニシアティブ講師謝礼等基準の第3条（謝礼等の支払い額）に基づき支払わないことを次回の運営委員会にて確認する。

(2) 決定事項

- ・ 初任者研修にて、若手職員の緊張を和らげる意図で行っている情報交換会におけるゲーム等の催しについては、中級研修なので実施しない。
- ・ 研修企画にかかる運営委員会への付議は、次回の運営委員会とし、講師打合せが終わった時点で一度、運営委員会委員長の内諾を得ることとした。

なお、講義及びワークショップに関する主な意見は以下のとおり。

- ① 今回の研修で学びたいことを、本委員会がもう少し明確にする必要がある。
- ② 研修のテーマを「マーケティング」として、キーワードも全体的に統一した方が良い。
- ③ 大学図書館の取り組みをより広く知ってもらうのに必要な能力として、プレゼンテーションのスキルアップ方法も学びたい。
- ④ インターンシップを大学図書館が行う機会が、あまりないので受講希望が集まらないのではないか。
- ⑤ 最後の講義枠は、ワークショップに繋がる内容とするのが相応しい。
- ⑥ ワークショップにおいて、全受講者が発言できる機会がほしい。それに適した運営方式を講師と相談してはどうか。
- ⑦ 新たな企画として、賛助会員である企業の方を講師に選んだ効果も考慮した方が良い。
- ⑧ 募集要項に記載する講義等のタイトルにより、受講希望が左右される場合があるので、より内容を明確に示したものとする必要がある。

2) 講師との事前打合せ

角田主査から標記について、今後の進め方について提案があり、講師担当にて進めることとし、打合せには講師担当2名と主査、副主査は必ず参加し、他の委員も都合がつく場合

は、極力参加することとした。なお、以下については今後の検討とした。

- ・ 研修の開始時刻について、受講者の移動時間を考慮し、無理がないか
- ・ 逐次通訳の入る講義の場合、通訳する時間が必要となるため、適切な時間配分であるか
- ・ 昼休憩の時間帯について、食堂等の混雑状況も踏まえ、適切な時間帯であるか
- ・ ワークショップの方法及び発表の方法等
- ・ 受講者に配付するテキスト等の内容

3) 第5回能力開発専門委員会

角田主査から資料 4-1 及び 4-2 に基づき、今年度中に開催する本委員会関係の開催について説明があり、会場について検討した。主な決定事項は以下のとおり。

- (1) 講師との打合せは、関西学院大学、京都大学、阪南大学のいずれかの会場にて行い、日時は講師担当が今後調整する。
- (2) 次回の第5回本委員会の会場は阪南大学とし、2019年1月頃に開催する。当日は、運営委員会への付議準備として、研修内容を確定させる。
- (3) なお次回以降の本委員会配付資料の作成は担当毎に行い、必要部数を持ち寄る方式になる。

以上